

第 67 回 徳島大学解剖体慰霊祭

1. 日時 令和 2 年 12 月 18 日 (金) 15:00～

2. 場所 大 塚 講 堂

3. 次第

- 一 開式の辞
- 一 黙 禱
- 一 献体者の氏名奉読
- 一 追悼の辞
 - 祭主 (医学部長)
 - 歯学部長
 - 解剖関係教室代表 (石丸 直澄 教授)
 - 白菊会代表 (香西 孝史 理事長)
 - 医学部学生代表 (医 3 年 林 恒太郎)
 - 歯学部学生代表 (歯 3 年 植木 雄仁)
- 一 献 花
- 一 遺族代表者挨拶 井上 美和 殿
- 一 祭主挨拶 医学部長
- 一 閉式の辞

4. 第 67 回徳島大学解剖体慰霊祭出席予定者数

来 賓	1 人	(1 人)
遺 族	7 0 人	(70 人)
白菊会役員	3 人	(4 人)
教 職 員	1 0 0 人	(150 人)
学 生	1 2 0 人	(300 人)
合 計	2 9 4 人	(525 人)

注・・・() 内の数字は前年度分を示す。

5. 第 67 回 (令和 2 年度) 徳島大学解剖体慰霊祭 総御霊数

	第 65 回 (平成 30 年度)	第 66 回 (令和元年度)	第 67 回 (令和 2 年度)	総御霊数
系統解剖	34 柱	44 柱	48 柱	2,196 柱
病理解剖 (医)	35 柱	29 柱	25 柱	4,371 柱
(歯)	0 柱	0 柱	0 柱	41 柱
合 計	69 柱	73 柱	73 柱	6,608 柱

第 67 回の御霊数は、令和元年 8 月 1 日～令和 2 年 7 月末の期間の成願者数である。

<参考>

徳島大学白菊会について

1. 目的 会員の健康の維持並びに増進を図るとともに、医学・歯学の発展と人類の福祉に貢献するため、会員の遺体を徳島大学医学部に献体することを目的とする。

2. 設置 昭和42年9月1日

3. 理事長 香西孝史

4. 会員数 延べ人数 3,063人

5. 実数(生存会員数) 1,133人

6. これまでの成願数 1,351人

7. その他

1) 献体とは・・・医学・歯学の大学における人体解剖学の教育・研究に役立たせるため、ご自分の遺体を無条件・無報酬で提供することです。(生前の本人による入会手続きが必要)

2) 献体の意義・・・最大の意義は、自らの遺体を提供することによって、医学・歯学教育に参加し、学識、人格ともに優れた医師を養成するための礎となり、次の世代の人達のために役立とうとすることにあります。

3) 解剖学教育の実情・・・医学部では4人に1体、歯学部では6人に1体という割合で解剖学実習が行われています。文部科学省基準は(医学生2人に1体、歯学生4人に1体)

4) 解剖の種類・・・次のとおりです。

◆系統解剖・・・人体の構造を調べるための解剖。

病理解剖・・・死後、すぐ病変を調べるための解剖。

法理解剖・・・変死体の死因を調べるための解剖。

5) 白菊会への年間入会者数

平成6年度(48人)、平成7年度(88人)、平成8年度(85人)

平成9年度(88人)、平成10年度(48人)、平成11年度(66人)

平成12年度(73人)、平成13年度(75人)、平成14年度(109人)

平成15年度（120人），平成16年度（105人），平成17年度（116人）
平成18年度（33人），平成19年度（47人），平成20年度（66人），
平成21年度（58人），平成22年度（62人），平成23年度（56人），
平成24年度（32人），平成25年度（35人），平成26年度（45人）
平成27年度（99人），平成28年度（32人），平成29年度（43人）
平成30年度（23人），令和元年度（20人），令和2年度（30人）

- 6) バンクとの関係・・・系統解剖には，眼球や腎臓などの臓器が揃ったご遺体がより望ましいので，原則として，アイバンク等への登録されている方又はご予約の方は，先に登録された方を優先いただいております。

また，臓器提供（ドナーカード保持者）についても同様です。ただし，アイバンクについては，片眼登録のみであれば白菊会の入会が可能です。